

## 新年度 理事長あいさつ

一般財団法人ふくしま市町村支援機構の運営につきましては、日頃から格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

避難地域では、認定を受けた富岡町、大熊町、双葉町、浪江町の特定帰還居住区域において除染、解体工事が進められるなど、福島復興・再生に向けた取り組みは着実に進展しています。

一方で、復興が進むにつれて新たな課題やニーズも生じており、今後も中長期にわたる継続的な取り組みが必要です。今年は「第2期復興・創生期間」の最後の1年となりますが、当支援機構といたしましては、引き続き公共土木施設等の復旧、整備等の支援を通じて復興を応援してまいります。

頻発・激甚化する線状降水帯や台風、地震等への防災・減災・国土強靱化対策とともに、インフラの長寿命化対策も進めていかなければなりません。当支援機構では災害発生時は、初動の調査から工事完了後の会計検査の立会いまで、高い技術力と豊富な経験を基に迅速な復旧工事の執行を一連で支援してまいります。また、道路橋の「3巡目点検」について、県内約 6 割の市町村から受託した豊富な実績をもとに、適切な点検・診断・修繕計画の策定等を提案・実施し、長寿命化対策を支援してまいります。



理事長 遠藤 雄幸

当支援機構では、令和6年度から「第5期中期経営計画」がスタートしました。本計画では DX の推進による業務効率化を新たな取組として位置付け、一部業務で検査・確認を遠隔地から行う「遠隔臨場」を実施しております。人材不足の解消や業務の効率化に向け、更なるデジタル技術の活用を検討・実施を進めてまいります。

今後も、公共事業に関する市町村のニーズに的確に対応し、市町村から信頼され“かけがえのない存在であり続ける”ことを目指してまいります。

皆様方には、今年度も引き続き当支援機構を活用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

## 新任のごあいさつ



専務理事 穴戸 仁

一般財団法人ふくしま市町村支援機構の運営につきましては、日ごろから御理解と御協力を賜り、厚く感謝を申し上げます。

私は、今年4月に当支援機構の専務理事に就任いたしました穴戸と申します。建設技術センターから支援機構まで46年間土木一筋に勤めてまいりました。

今までに培った技術を活かし、微力ではありますが「市町村にとってかけがえのない存在であり続ける」ため全力で取り組んでまいりますので、皆様の御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

## 機構の新たなOJT (On-the-Job Training) の取組みについて

当支援機構では職員の資質・能力の向上の一環として、様々な OJT に取り組んでいます。

これまでに実施してきた中で見えてきた課題に対する新たな取組みについて紹介します。

### 課題①

#### ～参加時間の確保が難しい～

現場管理業務へ同行する OJT において、指導者と受講者共に移動時間も含めた拘束時間の長さが課題となっていました。

DX 技術(遠隔臨場)を活用し、現場までの移動時間を削減しました。

これにより、指導者と受講者の時間的な負担を軽減し、参加時間の確保が容易になりました。



遠隔臨場を活用した OJT

### 課題③

#### ～計画的・体系的でない～

所属ごとに独自の計画で OJT を実施しており、中長期的な視点での育成が課題となっていました。

当支援機構の第5期中期経営計画で具体的施策が明示されました。

これにより、具体的目標の設定、計画的な人材育成、それらの過程を可視化することができるようになりました。

### ～OJT(On-the-Job Training)とは～

OJT とは日常の業務に付きながらの職業教育することで、業務に必要な知識やスキルを実践で教育していく手法です。

その起源は、第一次世界大戦時のアメリカにおいて、膨大な数の軍人を育成するために生まれた「4段階職業指導法」であり、「やってみせる(Show)」「説明する(Tell)」「やらせてみる(Do)」「確認、追加指導(Check)」が基本的な手順とされています。

この方法を継続的に実施することで、人材が効率的に成長し、人が人を育て、職場への定着効果も期待できるとされています。

### 課題②

#### ～指導側の能力・意識の不足～

受講者と同一課内や業務で係わりのある職員を指導者としていましたが、指導者ごとの指導能力のばらつきや、指導内容の偏りが課題となっていました。

指導者の指導技術が向上するよう職場内の共育環境の形成を図り、業務や所属の制限なく、ベテランが若手に技術を継承する場として再整備しました。

### ～ワンポイント(共育(きょういく・ともいっく))～

共育とは、教育・養育・指導を行う側と受ける側がともに学び成長することを意味する造語。

### 課題④

#### ～受講者の意識改革～

当支援機構には、様々な資格の取得補助制度がありますが、OJT が制度利用の促進に繋がっていないことが課題となっていました。

実施において、受講者の所属を限定しない自由参加としました。

これにより、様々な OJT を受けることができるようになり、自己啓発のキッカケとなることが期待されます。

## 令和7年度市町村建設事業等担当職員研修計画をお知らせします

当支援機構では1～3日の短期研修事業として、市町村からの要望に沿った研修内容を基本に、市町村等の建設事業に従事する職員の専門的な技術の習得と向上を図るための各種講座を設けています。

この度、令和7年度の研修計画が決定しましたのでお知らせいたします。

### 令和7年度 市町村建設事業等担当職員研修計画

研修区分	研修名	開催時期	開催期間	開催頻度	開催形式
基礎	土木技術の基礎講座	6月 (上旬/中旬)	3日間	年2回	集合
初級	設計積算システムによる積算演習 <土木>	7月・8月	2日間	年2回	集合
	営繕積算システム RIBC2 による 積算演習<建築>	7月	2日間		集合
	Jw-CAD演習	7月・8月	2日間	年2回	集合
	用地研修	6月	3日間		集合
	水道施設の設計と施工管理	11月	1日間	隔年開催	集合
	許認可	7月	2日間	隔年開催	Web
中級	工事検査	7月	1日間		Web
	災害復旧事業の執行	7月	3日間		集合
	道路事業の計画設計(Ⅱ)	10月	3日間	隔年開催	集合
	道路事業の施工管理と業務委託	11月	2日間	隔年開催	Web
特別	会計検査制度と指摘事例の解説	10月	1日間		Web
	公営企業会計制度	11月	1日間		集合
	公共施設の維持管理	10月	1日間		Web
	工事事故の防止について	10月	1日間		Web

※ 「集合」形式の研修は当支援機構本部(福島市中町7番17号)で行います。定員(20名)を超える応募があった場合、団体ごとの参加人数を制限させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ 「Web会議」形式の研修はZoomで行います。参加人数の制限はありませんが、受講環境は各自でご準備ください。

※ 研修の実施日程等は変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

日程の詳細は、開催 1 ヶ月前を目安にお知らせします。最新情報は当支援機構の研修事業ページ(<https://www.fm-so.org/training-business> 又は右のQRコード)よりご確認ください。



研修事業

(企画課 TEL 024-572-6325)



## 伊藤専務退任に伴う感謝状贈呈式を執り行いました

令和7年3月を持ちまして伊藤政宏専務理事が退任するにあたり、感謝状の贈呈式を執り行いました。

伊藤専務は昭和54年4月に当時設立2年目の福島県建設技術センターに入団して以来、土木の技術職員として常に第一線で活躍し、当支援機構を支え続けてくださいました。

平成23年からは常務理事を経て専務理事となり、役員として当支援機構の発展に多大なご尽力をいただきました。

3月24日の式では遠藤理事長より46年にわたるご貢献への感謝の意を込めた労いのお言葉とともに、感謝状が贈られました。



感謝状贈呈の様子



遠藤理事長(左)と伊藤専務(右)

## 「支援機構だより」50号を迎えて

「支援機構だより」は市町村の建設行政の支援を目的とした機関誌として平成24年より10年以上に渡り様々な情報を発信してまいりました。国や県等の制度改革の解説や当支援機構の業務内容など、これまでに紹介した情報が皆様の事業遂行の一助となっていれば幸いです。

50号という節目を迎えることができたのも、当支援機構内外のたくさんの方々のお力添えがあったからこそであり、改めまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

これからも、様々な情報をわかりやすく紹介することを心がけ、「市町村にとってかけがえのない存在であり続ける」ことができるよう努めてまいります。引き続き、当支援機構および「支援機構だより」をよろしくお願いたします。

### 【編集後記】

春と言えば「桜」。その中でも全国に3億本以上あると言われ、代表格とも名高い「ソメイヨシノ」。そのすべてが接ぎ木等で増やされていったクローンであり、桜の開花宣言の標本木としても使われています。

近年の研究の結果、1878年に郡山市の開成山公園に植えられたソメイヨシノは、現存する中で最古級であることが判明したそうです。皆様はご覧になりましたか？147年前なんてすごいですね。

ちなみに、ソメイヨシノは自家受粉ができませんが、近くにほかの種類の桜があればサクランボをつけることもあるそうです。ただし、苦みと酸味が強くおいしくはないらしいです。…だめですからね？

【編集・発行】一般財団法人ふくしま市町村支援機構



TEL(代表): 024-522-5123

E-Mail: info2@fctc.or.jp

〒960-8043 福島県福島市中町7-17

FAX: 024-522-3631

URL: <https://www.fm-so.org/>



支援機構 HP